

確認リスト(様式5)は

あなたの症状や障害状況の全体像を把握し、支援者に理解してもらうためのものです。

変化があった時や数年ごとに定期的にチェックして、今の状態を理解するのに役立ててください。

支援者が何をサポートすれば良いかわかりやすくするため、チェックリスト形式になっています。

参考資料『10生活の大変さ指標』を見ながら書いてみましょう。

書き方は

質問項目ごとに1～4段階で、最もあてはまるものにチェック(✓)をつけてください。

チェック(✓)のみでは伝わりにくい内容は、備考に具体的に記入してください。

評価の基準は

- 自発的にできる …… …… …… 本人が自発的にその行為を支障なく実施できること
- △ 自発的にできるが援助が必要 …… …… 自発的に行うが、見守り、声かけや促し、一部の援助が必要であること
- △× 援助があればできる …… …… 全般的な援助がなければ、その行為が実施できない
- × できない …… …… …… その行為を行うことが困難である

留意点は

「本人が単身で生活するとしたら」可能かどうか で記入しましょう。

「できる」とは、「適切な判断、準備、実施、片付けのすべてが可能である」ことを意味します。

例えば…

②⑥適切な食事ができる とは

一日に必要な栄養のバランスを考え、自ら準備して食べて片付けが自発的に行えること

②⑦身の清潔保持ができる とは

必要な回数の洗面、洗髪、入浴、着替えなど身体の清潔を保つことができる、また準備から後片付けまで自発的に行えること

②⑨通院と服薬ができる とは

定期的に通院と服薬が行え、病状の変化などを主治医に伝えられること

③①身の安全保持ができる とは

事故などの危険から身を守ることができ、困ったときに周りの人に援助を求める(相談する)ことができる